



子ども服を無料で譲渡する古着市が、道の駅オアシスなんもくの休憩所で6月末から1カ月間開催された。期間中に計500着ほど集まり、残った100着は選別の上、村内のカフェに置かれている。企画・実行は中学生の保護者ら3人。来年度に制

子ども服無料古着市

衣

美しい自然に囲まれ、高齢化率日本一の村として知られる南牧村。ここでの暮らしは、慌ただしい日常で忘れがちな「本当の豊かさ」とは何かを気付かせてくれる。衣・食・住・楽をキーワードに、村の魅力を探しに出かけた。



南 牧 村

食



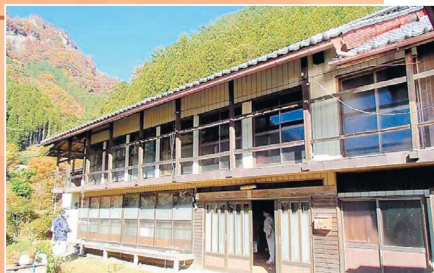
平飼い卵 「なんたま」

南牧中では昨年度から、技術の授業でニワトリを飼育している。村の大工や自然農園と協力して小屋を組み立て、数羽のメスを育てている。昼休みには交代で餌やり。担当した生徒が長靴にカッパを着て素早く小屋に入り、米や小麦、野菜のくずに水を混ぜた餌をあげるとニワトリたちはにぎやかに食らいつづいた。生徒は「ニワトリの世話は楽しい」と、産み落とされていた卵をきれいに洗う。卵は「なんたま」として村内のカフェで販売されている。

大切な... とスローライフしてみませんか

住

古民家バンク



南牧山村ぐらし支援協議会が運営する古民家バンクのホームページ＝2次元コード＝には、常時20軒ほどの古民家が掲載されている。県内からの問い合わせも多く、こんにゃくと養蚕の歴史を伝える古民家に魅力と可能性を感じる人も多い。他にも、村では若者世帯向けに空き家を改修したり、村営住宅や分譲地の整備も行う。移住コーディネーターが移住を全面的にサポートする体制も。移住・住まいに関する問い合わせは村づくり雇用推進課(☎0274・87・2011)へ。



村の音楽会

楽

「村の喫茶店もくもく」は昨年11月から、「音楽を通じた交流」をテーマに音楽会を開いている。1回目は秋空の下、地域住民や小中学校の先生による大正琴や軽音バンドの演奏が響いた。2回目の今年5月は隣の下仁田町からコーラスやオルゴール演奏も加わり、延べ100人ほどが揃った。次回は今年12月午前10時から。店主の鰐淵さんは、他にも写真展や上映会など定期的に「楽」しいイベントを企画する。

第1回音楽会の様子



学校完成のイメージ

2024年4月に義務教育学校が開校し、小学1年生から中学3年生まで9年間の一貫した学びが行えるようになる。英語教育のほか、地域住民と関わる「ふるさと教育」などを取り入れ、特色ある教育を目指す。子どもたち一人一人が孤立するこ

となく、共に学び、常にその存在が感じられるような一体的な学び舎を建設中。新たな学校を契機に南牧村の子育て世帯を増やし、学校と保護者、地域の皆で村の活性化につなげ、子どもたちの学びを豊かにする好循環を目指す。

学

村の義務教育 学校新設

なんもく村観光協会

会長 岩井 武

甘楽郡南牧村大字千原198-3 ☎0274-87-3131
(受付時間) 午前9時～午後5時まで(土日、祝日を除く)



村で採れた新鮮野菜や、おふろの味、懐かしい味のお惣菜も取り揃えております。

道の駅 オアシスなんもく

甘楽郡南牧村大字千原3-1 ☎0274-87-3350
(営業時間) 9:00～17:00
(定休日) 毎週火曜日・年末年始



大自然と渓谷に囲まれ、園内にはコテージ、バンガロー、オートキャンプ場などがあり気軽にアウトドアライフが楽しめます。

南牧村自然公園キャンプ場

甘楽郡南牧村大字千原981 ☎0274-87-3657
(開園期間) 4月下旬～11月下旬

地域の力 応援キャンペーン ぐんま愛 協賛社

(順不同)

							<p>【ぐんま愛】は、地域の課題とともに考え、地域の魅力を発掘するお手伝いをするキャンペーンです。上毛新聞社は、県内自治体と協賛企業・団体の協力を得て2016年から「ぐんま愛」を展開しています。</p>		